

2月2日に発せられた ポール・チューダー・ジョーンズの警鐘

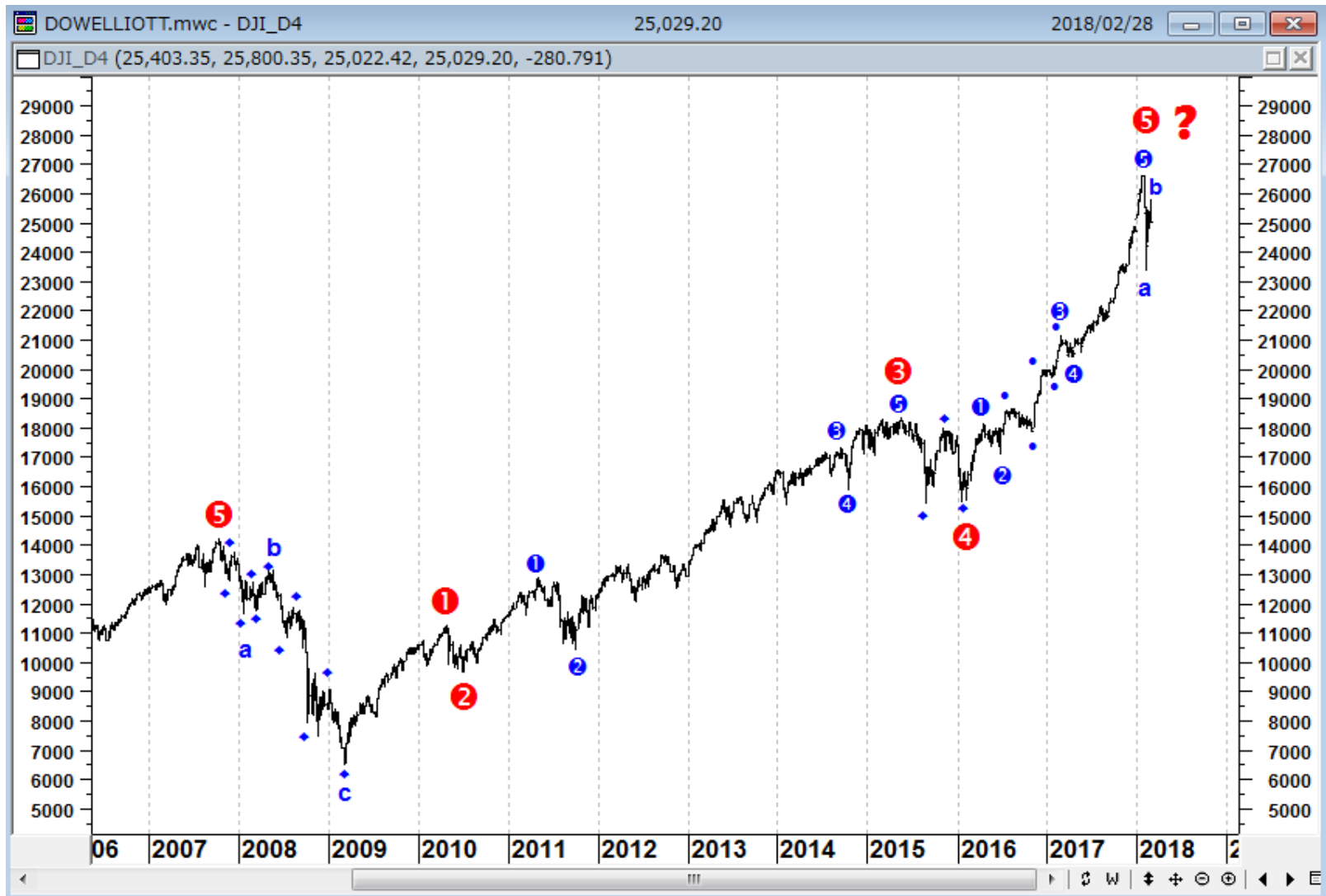
2月2日から相場が大幅下落したのは偶然だろうか？ポール・チューダーは2月2日、「市場は危険な金融バブル」だと、チューダー・インベストメントの顧客に警告した。

「We are replaying an age-old storyline of financial bubbles that has been played many times before," he concluded.」と述べ、これまでに行われてきた金融バブルの再現だという認識を示している。

また、「I believe policymakers should have been much more aggressive in tightening policy and rejecting the fiscal impropriety associated with this most recent tax cut ... The die has been cast by the Fed and other central banks and future policy prescriptions are predictable.」と、トランプの減税などの腐敗した財政政策はやめるべきだと述べている。

NYダウ（週足）と波動カウント

チューダーが見ているのはおそらく以下の波動カウントだろう。この位相であれば・・・ちょっと怖い！



S & P 500種の最悪期まだ終わっていない – 2600を再度試すと BMO

2018年2月28日 9:36 JST (ブルームバーグ)

リバウンドの心地よさはすぐに消える – コナコードのドワイヤー氏

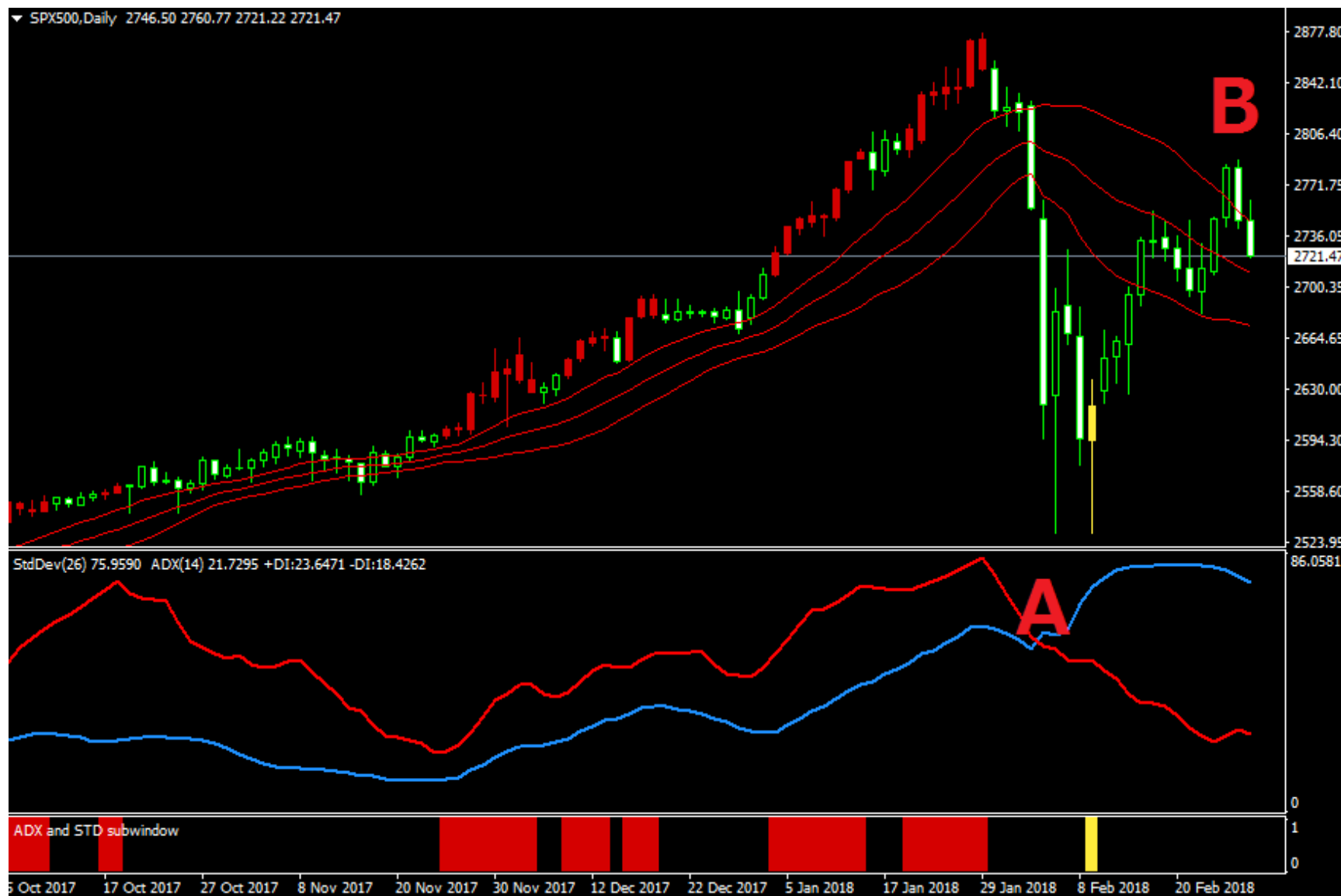
S & P 500種は2600 – 2650がターゲット – BMOのビシュ氏

米ウォール街には、株式市場の苦痛が恐らくまだ終わっていないとみるアナリストがいる。カナコード・ジェニユイティの株式ストラテジスト、トニー・ドワイヤー氏によると、過去を振り返るとボラティリティーの10週変化率が極端な水準まで押し上げられた今月のような激変の事例が、1992年から2018年1月までの期間に4件あった。08年の下げ相場時を除く同社のデータによれば、激変が起きた後のS & P 500種株価指数は平均で5.6%戻したが、いずれのケースも相場は再び崩れた。ボラティリティーが116%急上昇し、カナコードの評価尺度に基づくボラティリティー変化率が125と極端な領域に押し上げられて以来、S & P 500種は4.9%上昇している。

ドワイヤー氏は26日、「米金融政策を巡る懸念や期待外れのデータ、あるいはこの両者の組み合わせから、リバウンドの心地よさはすぐに消えてしまうはずだ」と指摘。『ショックによる下げ』で付けた安値を再度試す可能性があるというわれわれの予想に変化をもたらすようなことは先週ほとんどなかった。今後数カ月は極めて不安定な状態が続き、これが下期の変動の土台作りになるだろう」と述べた。リバウンド局面での売買高も問題だ。NYSE総合指数は8日以降5.9%上昇したが、売買高は徐々に減少し、リバウンドが始まった初期のわずか半分程度に落ち込んだ。

BMOネスビット・バーンスのテクニカルアナリスト、ラス・ビシュ氏は26日のレポートで、S & P 500種のリバウンドは今なお進行中のA – B – C修正局面の「B波」のようだ」と指摘。2月の安値をどの段階で再度試すかは明確ではないが、このモデルの「C波」は2600 – 2650水準を再び試す可能性がある」と分析した。

S&P500CFD (日足)



伝説的マクロトレーダーも警告、米国株は高過ぎて「恐ろしい」

2017年4月21日 11:37 JST 更新日時 2017年4月21日 (ブルームバーグ)

米国株の時価総額、対GDP比率が2000年以来の高水準ゴールドマン関連会社の非公開会議で今月に入り発言していた

資産家でヘッジファンドを運営するポール・チューダー・ジョーンズ氏は、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長や投資家に言いたいことがある。十分な恐れを持ってほしいということだ。

伝説的マクロトレーダーとして知られる同氏は、低金利時代が何年も続いたことで株価評価（バリュエーション）が2000年以来の高水準に達しており、当時はその直後にナスダック指数が2年余りかけて75%下落したと指摘。経済規模に対する株式時価総額の高さを考えれば、中銀当局者にとって「恐ろしい」はずだと、今月早くにゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが開催した非公開会議で発言したという。発言を聞いた関係者が明らかにした。

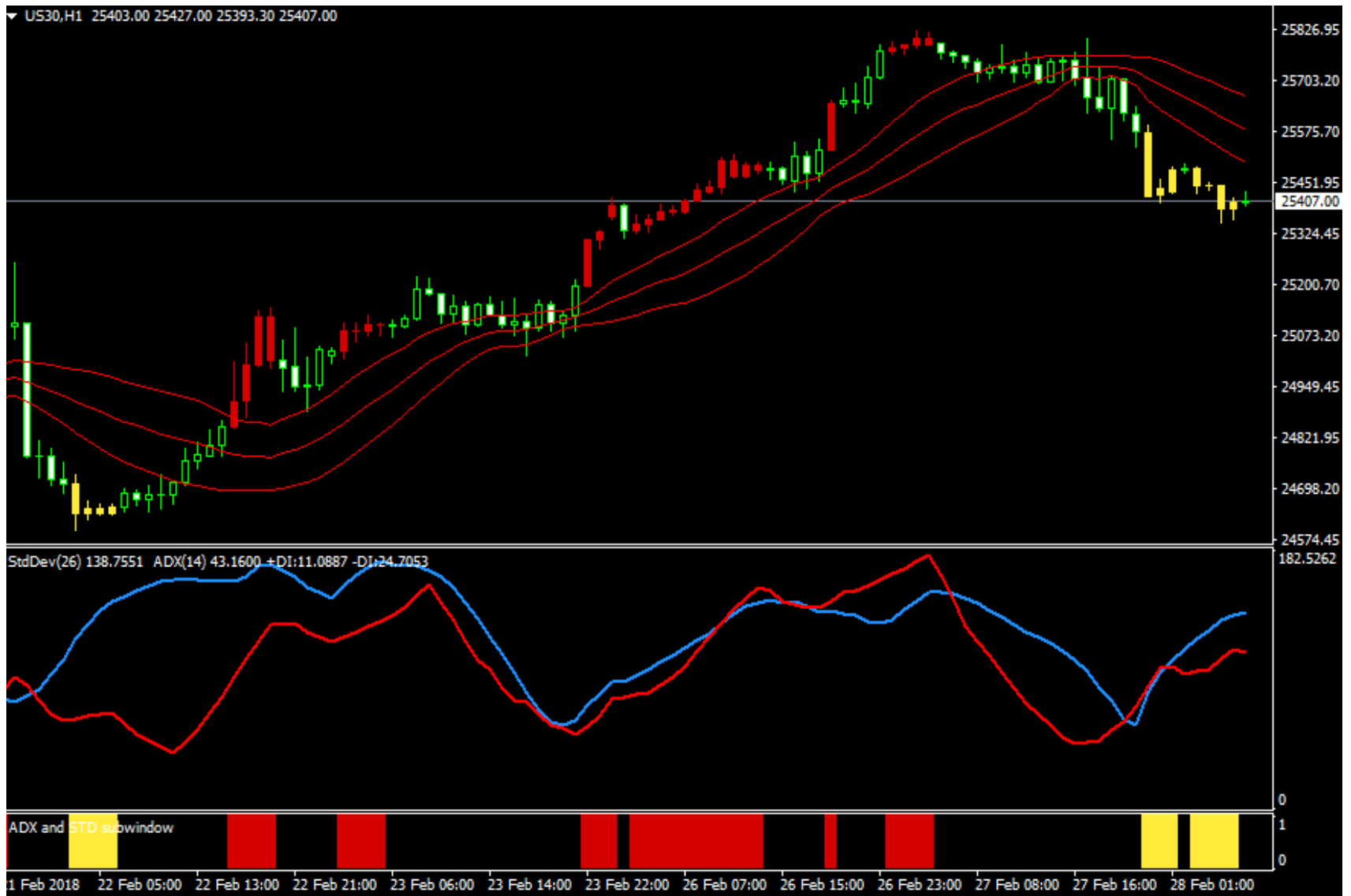
チューダー・インベストメント（運用資産100億ドル＝約1兆930億円）を運営するジョーンズ氏のほかにも、多数のヘッジファンド運用者や資産運用のプロが非公開ではあるが、株価が持続できない水準で取引されていると同様の警告を行っている。年内に相当の相場急落が起こると予想するトレーダーもいる。

米国株時価総額の対名目GDP比

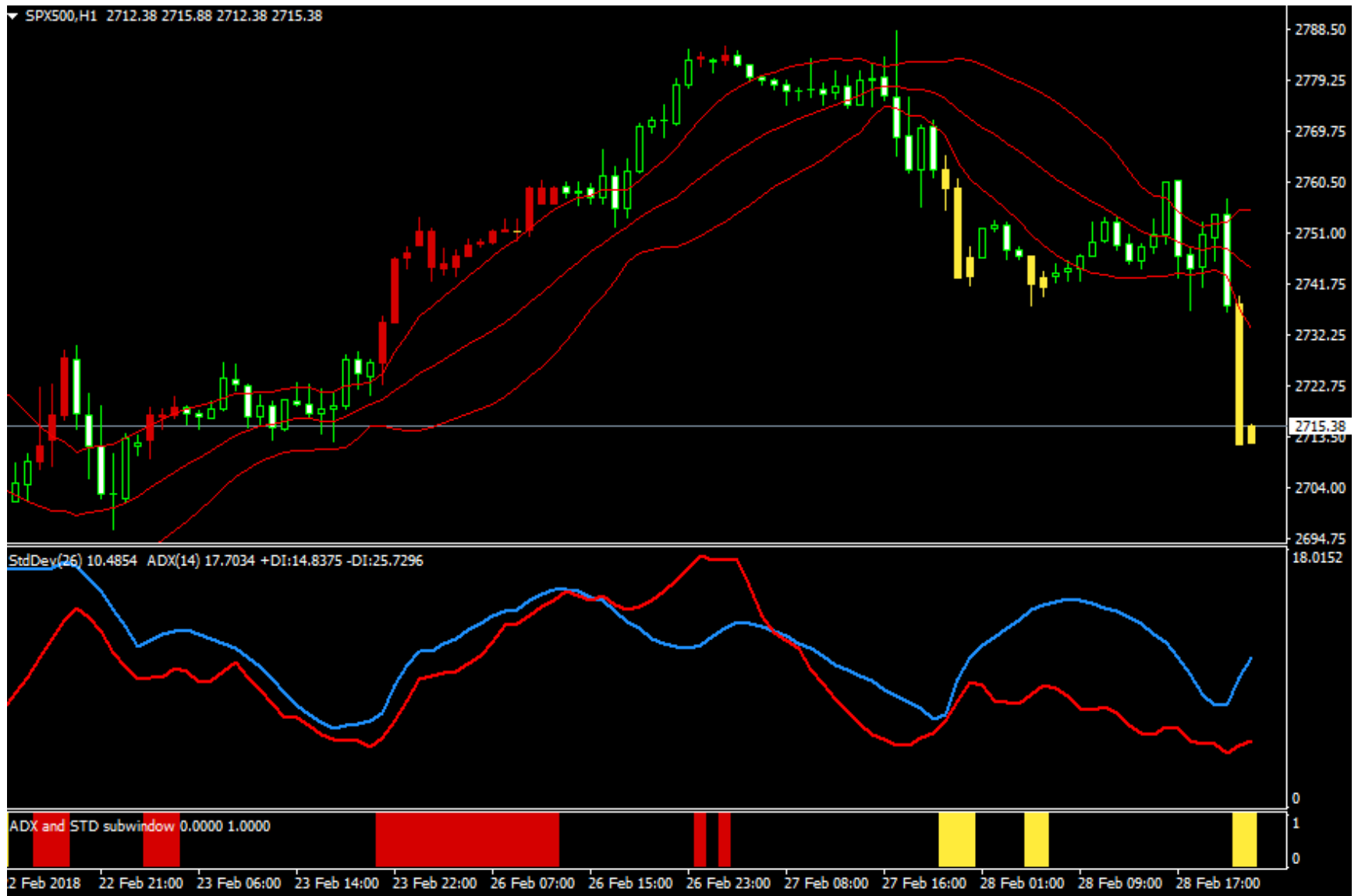


出所 : マーク・ファーバー博士の月刊マーケットレポート・国内代理店パンローリングの掲載許可をとって掲載

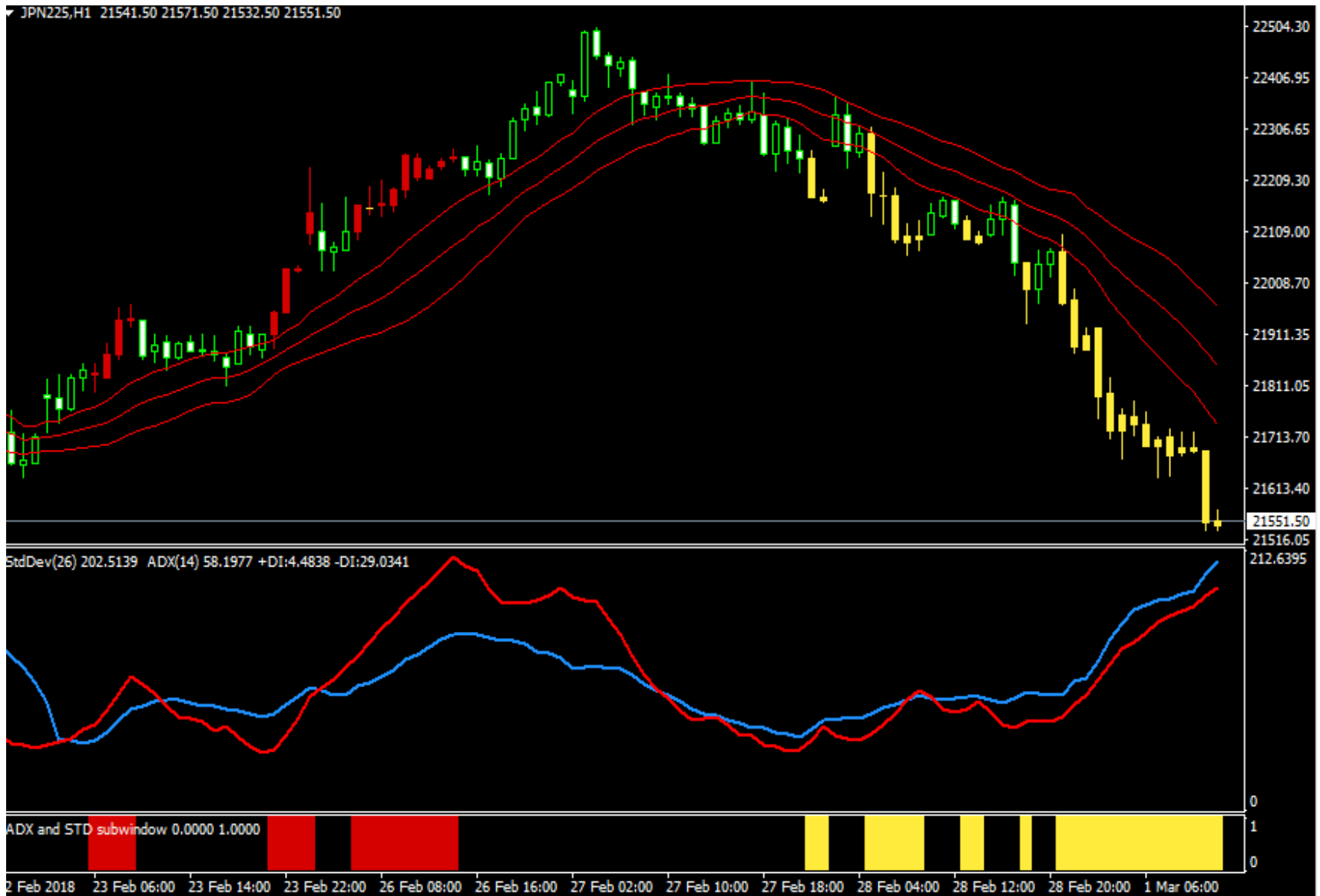
NYダウCFD (1時間足)



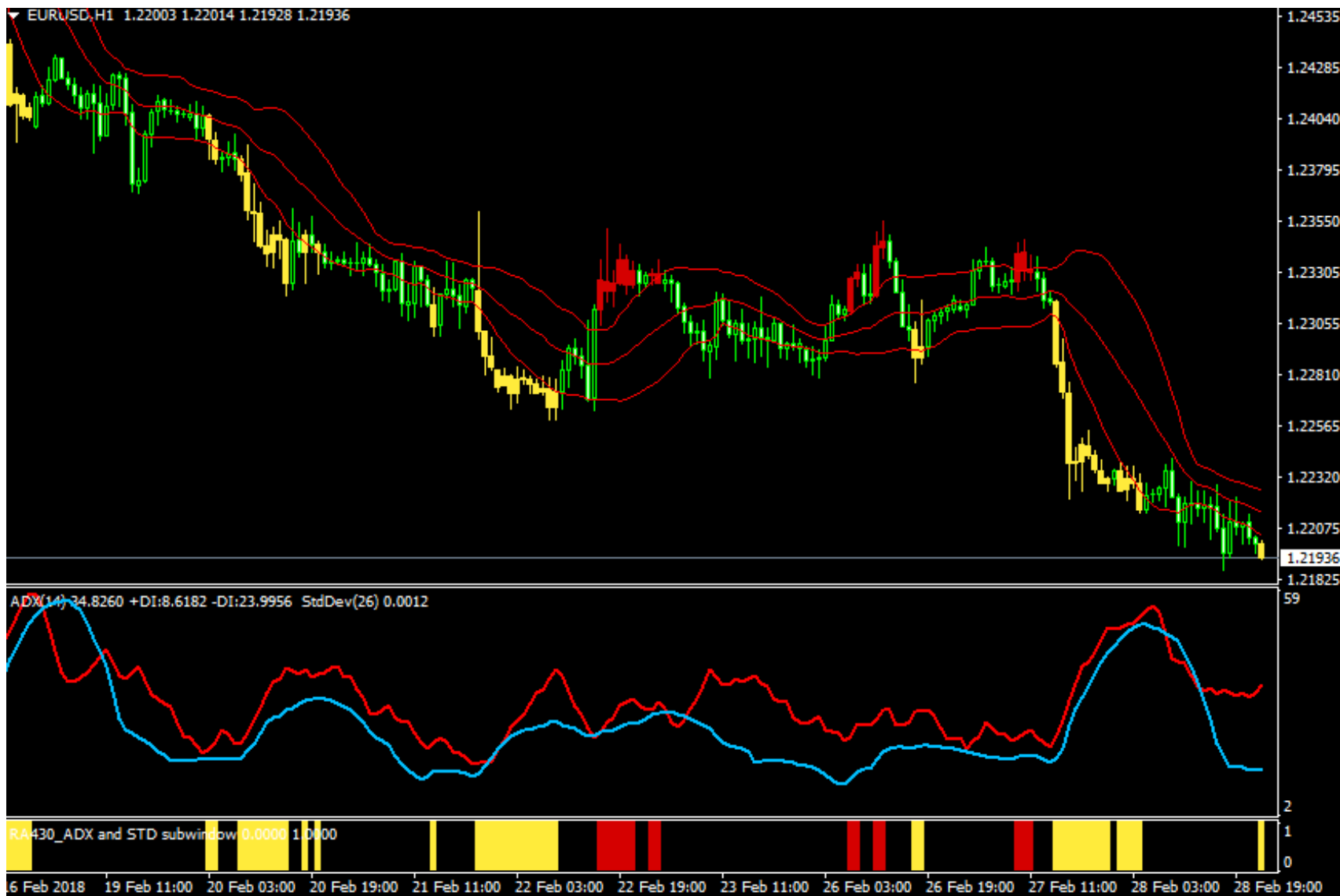
S&P500CFD (1時間足)



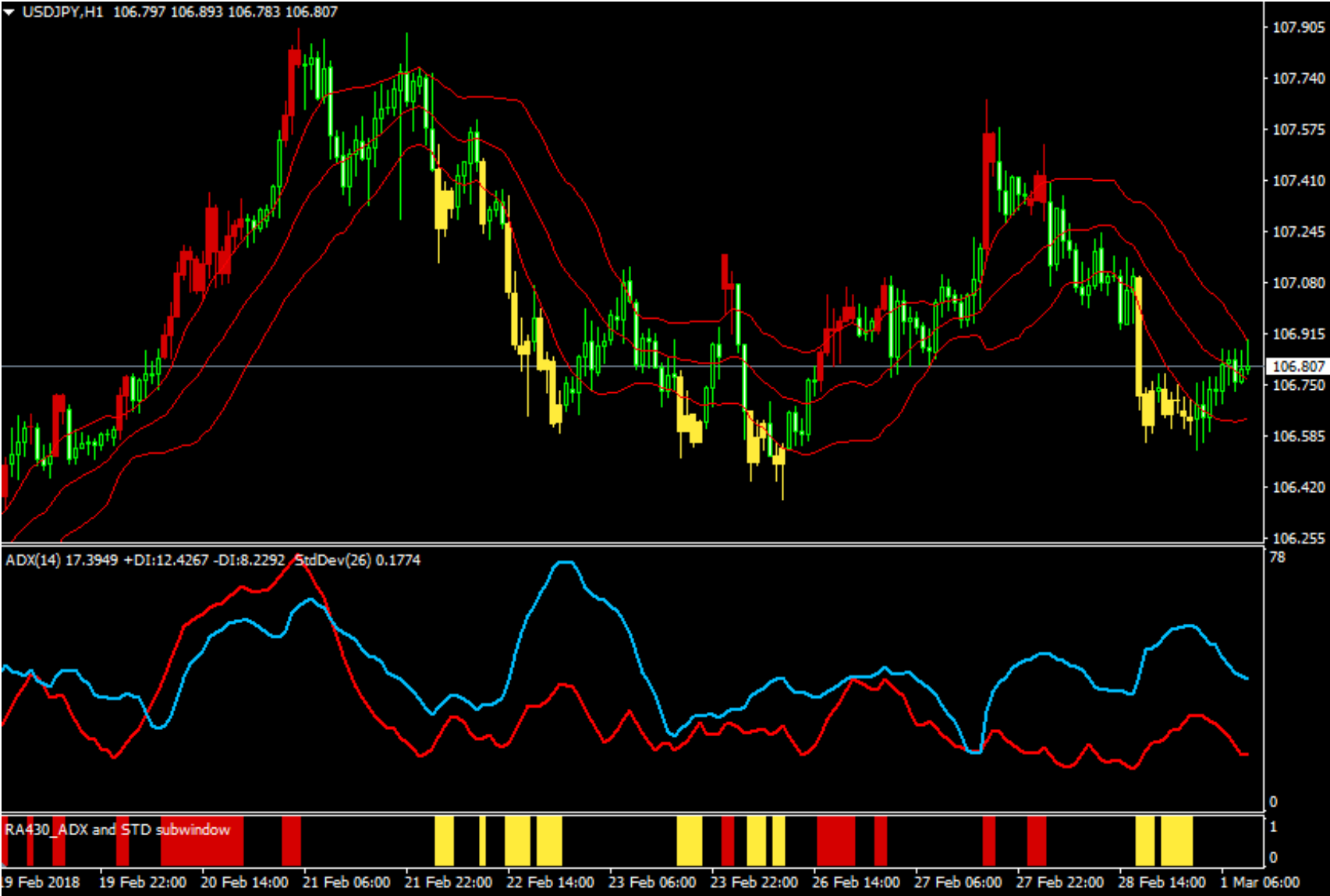
日経平均CFD（1時間足）



ユーロ/ドル (1時間足)



ドル/円 (1時間足)



ジャンク債の推移

